



2016年9月29日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目1番28号  
日本通信株式会社  
代表取締役社長 福田 尚久  
(コード番号: 9424)  
問合せ先 代表取締役常務 片山 美紀  
電話 03-5776-1700

**日本通信、MVNO 格安 SIM 市場倍増**  
**接続協定に関する命令を総務省に申し立て**

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、2015年8月7日にソフトバンク株式会社（以下、「ソフトバンク」という）の携帯網への接続を申し入れ、協議を重ねてまいりましたが、今般、ソフトバンクから接続を拒否されたことから、本日、総務省に対して、接続に関する事業者間紛争の処理手続、具体的には、接続協定に関する命令申立書を提出しましたので、お知らせいたします。2016年1月22日に公表したとおり、当社は MSEnabler（モバイル・ソリューション・イネイブラー）へと役割転換を行い、その大きな柱として、コンシューマ向けに格安 SIM を提供する MVNO 各社のイネイブラーをつとめています。本手続によりソフトバンクとの接続が完了次第、ソフトバンクのスマートフォンを利用中の推定約 2,730 万回線に対して、当社がイネイブラーとしてソフトバンクの格安 SIM を提供開始します。

いわゆる格安 SIM は、2007年の総務大臣裁定を突破口として、誕生しました。2006年に当社がドコモに接続を申し入れ、これを拒否されたことから総務省による事業者間紛争の処理手続、総務大臣裁定が指示した両社の協議を経て、ドコモの携帯網を利用した格安 SIM 市場がひらかれたのです。日本通信一社から始まり、現在は 561 社の MVNO が格安 SIM を提供することで、携帯料金はほぼ半額になりました。

しかし、現時点で格安 SIM を利用できているのは、ドコモの携帯端末を使っているユーザーと SIM フリー端末を新たに購入されるユーザーのみです。ドコモ以外の携帯キャリアの端末を使っている方々は、格安 SIM に乗り換えるという選択肢を奪われています。

総務省が公表している統計数字によれば、2016年3月末時点における MVNO シェアは 4.0% ですが、これは au の MVNO 一社を除き、全てドコモの携帯端末を使っている方々のみで達成しているシェアです。これにソフトバンクの携帯端末が新たに加われば、比較的短期間にシェアは倍増することが予想されます。ソフトバンクは現在、3,938 万回線を保有し、市場全体のスマートフォン比率（主に iPhone）は約 70% 程度なので推定約 2,730 万回線が新たに格安 SIM を利用できるようになるということです。

ソフトバンクとのレイヤー2接続が実現すれば、取り残されている70%の端末が格安SIMを利用できるようになります。

本日の申立について、当社代表取締役会長の三田聖二は次のように語っています。

「最初に格安SIMを生み出し今日に至るまでの間、当社は格安SIM市場の拡大を自らのミッションとして注力してきました。ドコモ網との相互接続ができて、ソフトバンクとの相互接続ができない理由はありません。当社はソフトバンクの接続を実現し、MVNOパートナーを通じて、ソフトバンクの格安SIM最大シェアを獲得します。」



※格安SIMのお客さまの需要を満たせるだけのMVNOパートナーが揃うまでのあいだは、当社のブランドでもサポートします。

#### ■日本通信について

日本通信は1996年5月24日、モバイルが実現する次世代インターネットを活用して日本の次世代経済の基盤を構築する総務省の方針を実現する会社として設立されました。当社ビジネスモデルはのちにMVNOと命名され、2009年3月、総務省の携帯市場のオープン政策のもとNTTドコモとの相互接続を実現しました。これにより「格安SIM」が生まれ、携帯事業者以外から携帯通信(SIM)が買える市場が誕生しました。次は、携帯電話以外の産業が、自社サービスにモバイルを組み込み、産業全体がモバイルを活用し成長する番です。MVNOルールメーカー、世界初のMSEnablerとしての強い技術ビジョンと高い遂行力によって、日本発の経済創出の一翼を担うべく次世代プラットフォームの構築に取り組んでいます。東京、米国コロラド州、ジョージア州およびフロリダ州に拠点を置き、東京証券取引所市場第一部に上場(証券コード:9424)しています。当社のコーポレートガバナンスのポリシーとして、社外役員が過半数で、全社外役員は独立役員です。